

音楽史における「ルネサンス」

- ・ 15～16 世紀の約 200 年間
- ・ ヨーロッパ大陸北方から南方へと伝搬
- ・ 古代ギリシア文化の再生、復興という意味合いは薄い

ルネサンス期の特徴

- ・ 中世の硬い響きが、心地よい柔らかな響きに
- ・ ある特定の声部だけでなく、各声部が作り出す全体としての響きを重視
均整のとれた楽曲構造
- ・ 音楽家が国際的に活躍したことで、音楽の国際様式が確立
- ・ 声楽曲に加えて、徐々に器楽のための音楽（舞曲など）も充実
- ・ 印刷楽譜の普及

ルネサンス時代の主要楽派

- ・ ブルゴーニュ楽派（15 世紀初頭～半ば）
- ・ フランドル楽派（15 世紀後半～16 世紀）

宗教改革と音楽

- ・ ルター派のコラール